

令和5年度 幼稚園評価 結果報告

令和6年1月、保護者の方にアンケートを依頼しました。アンケート結果は以下の通りです。

| No. | 評価項目   | A<br>とてもそう思う | B<br>そう思う | C<br>あまり思わない | D<br>わからない |
|-----|--|--------------|-----------|--------------|------------|
| 1   | 子どもは幼稚園での遊びや集団生活を楽しんでいる。   | 69%          | 31%       |              |            |
| 2   | 子どもは先生や友達に親しみを感じ安心して生活している。  | 74%          | 26%       |              |            |
| 3   | 幼稚園は、子どもが基本的な生活習慣を身に付け、自分の体や健康に関心をもてるよう指導を取り入れている。                                       | 71%          | 29%       |              |            |
| 4   | 幼稚園は、子どもの遊びの中で、一人一人に応じた指導や配慮をしている。   | 63%          | 33%       | 1%           | 3%         |
| 5   | 特色ある教育活動として外国人講師による英語カリキュラム「Good job!」を定期的に導入しています。その専門性を生かしながら園児の教育活動の向上に努めている。         | 68%          | 29%       |              | 3%         |
| 6   | 特色ある教育活動として専門講師による「体育指導」を定期的に導入しています。その専門性を生かしながら園児の教育活動の向上に努めている。                       | 81%          | 18%       |              | 1%         |
| 7   | 特色ある教育活動として、右脳発達プログラムを導入している「こぐま会」の専門講師を招き、定期的に指導してもらっています。その専門性を生かしながら園児の教育活動の向上に努めている。 | 81%          | 16%       | 3%           |            |
| 8   | 教育内容や子どもたちの様子を分かりやすく説明し、保護者と連携して教育活動の充実に努めている。   | 61%          | 38%       | 1%           |            |
| 9   | 幼稚園は栽培活動や絵本の読み聞かせ、季節の行事などに取り組み、子どもたちが様々な経験ができるように取り組んでいる。                                | 76%          | 24%       |              |            |
| 10  | 幼稚園は子どもたちに集団生活のルールや集団行動に必要な態度を身につけるなど社会性や人とかかわる力を育成する指導を行っている。                           | 76%          | 24%       |              |            |
| 11  | 幼稚園は、友達や異年齢児の中で優しさや思いやりの気持ちを育み、音楽、創作活動などに触れる中で感性を大切にするなど心の育成を目指した指導を行っている。               | 69%          | 31%       |              |            |
| 12  | 幼稚園は、地域や小学校などとの交流を通して、他施設や地域との連携を図った教育を進めている。  | 40%          | 48%       | 1%           | 11%        |
| 13  | 幼稚園は、避難訓練や安全指導を通して子ども達に自分で危険を回避しようとする姿勢を育て、園内の環境整備や安全対策に努めている。                           | 79%          | 21%       |              |            |
| 14  | 幼稚園は、預かり保育や未就園児対象の園庭開放・教育相談など、子育ての支援に努めている。  | 82%          | 18%       |              |            |

☆保護者の方からその他の意見として

- ・ 体育指導や右脳の発達プログラムがあり、一通りのことができるようになってくるので、ありがたい。
- ・ 豊多摩幼稚園の教育活動のおかげで、卒園後も小学校へ楽しく通えている。
- ・ 学芸会については衣装製作の負担が軽減されたが、靴はフリーが良かった。
- ・ 保護者会は「お便り」があれば実施無くても良いのでは(学芸会の保護者会を除く)。
- ・ 朝の開門時間は定刻通りに進めてほしい。
- ・ 延長保育で提供しているお菓子の見直しをしてほしい。
- ・ 夏の栽培のミニトマトが成長しなかったのが残念。
- ・ 「お便り」がもう少しわかりやすくなってほしい。
- ・ 保護者参加型の「教師体験」を復活してほしい。
- ・ 年間予定は助かっている。

#### ☆豊多摩幼稚園の特色ある教育の取り組みについて(実績報告)

- ・ 設問5～7にあるように三つの特色のある教育を年間を通して取り組んでいます。
  - 一つ目は、外国人講師による英語をヒアリングする事で園児が英語に興味・関心を持てるように配慮した。講師は、絵カードなどの平面の教材だけでなく、単語に合わせた事物(帽子・ジャンパー・靴下・マフラー)や英語の歌に合わせてペープサートを動かしたり、英語のパズルを用いて工夫をしてレッスンをを行った。その結果、園児にも分かり易く印象に残り、単語や歌を覚えることに繋がった。また、園児が大好きなハロウィーンやクリスマス関連の英語の歌や単語を豊富に学べる様にカリキュラムを作成してもらい、外国の文化に触れる時間を作ってもらった。
  - 二つ目は、右脳の発達プログラムに特化したこぐま会の講師を招いた。ペーパーありきの2次元的な学習でなく、事物を利用して実際に見て・聞いて・触れて・試すという3次元での学習(パターンブロック・おはじき・三角パズルで形を作る・折り紙を折ってはさみで切るなどの紙工作)をすることで、学びが深まった。
  - また、園児は学習することに興味・関心を持ち、自ら手を挙げて発言する意欲が育った。
  - 三つ目は、専門の体育指導講師による運動面の向上を狙いとして園児に実践した。子どもの体力面の向上だけでなく体育器具(鉄棒・マット・跳び箱)や縄跳びを用いて全身を使って行う運動は、幼児期の体や動きの土台作りとして大切であると感じた。
  - また、難しい課題やルールのある運動カリキュラム取り組む際は、例えばドッチボールでは、玉入れの玉でキャッチボールなどをして体の動きを覚えてからゲームをすなど前段階を大切にしていた。
  - チャレンジする事で心の成長(継続は力なり)も期待でき、意欲の育つ内容だった。

上記の結果を踏まえ、職員で自己評価を実施しました。

- ・ 「お便り」に情報が散見している件について、以前もご指摘いただいている事項なので、工夫が必要。
- ・ 設問13の避難訓練や安全指導の項目で評価が高かったのは、いざという時に備えることは大切なことなので今後も継続していきたい。
- ・ 設問12の地域や他施設との交流について、町会が実施する行事に参加するなど、情報交換なども必要であろう。
- ・ 保護者の理解や満足度をあげるために、CやDの評価を減らせるように十分な説明や環境づくりが必要であろう。
- ◎ 設問5の特色ある教育の英語について
  - ・ 子どもたちは楽しそうに参加しているが、楽しいあまりおしゃべりが弾んでしまう園児もいるため、レッスン開始前に約束事を決めておく必要があった。そのため、次の週から、約束事を交わしてから取り組んだ。
  - ・ 職員が補助に入らないと子どもに伝わらないゲーム(ルールなど)もあったので、レッスンの内容だけでなく事前にレッスンの流れやゲームの内容を把握できれば良いと感じた。次年度は改善するようにしたい。
  - ・ 講師が持参したCDが途中で止まることがあった。原因を調べたが、講師の用意したCDなのか、幼稚園のCDデッキなのか不明だった。CDデッキを買いなおすことも検討中。
  - ・ 講師の持参した教材が絵カードだけでなく、実物(Tシャツなど)もあって子どもたちに分かりやすくて良かった。絵カードだけでは、イメージだけになってしまうので事物を使って説明することは大切だと感じた。
- ◎ 設問6の特色ある教育の体育指導について
  - ・ 4月から体育指導の時間に真っすぐ並ぶ、体操座りの仕方など基本的な動作を取り入れていたので、子どもたちも10月の運動会までには、しっかり出来るようになっていた。
  - ・ 講師の盛り上げ方が上手なので、気持ちに乗れない子どももいつの間にか体操に参加していた。また、別のクラスでは体操が苦手だと言う子どもが「体操が楽しみ」と言うようになった。別の園児も、週末に来週の予定で体操がある事を伝えると声を出して喜ぶなど体操の時間を心待ちにしている園児が回を重ねるごとに増えていき、意欲を感じるようになった。
  - ・ 今年はブリッジの取り組みが少なかったため、体育指導時間にも取り組んだ。次年度は、講師にリクエストしてコミュニケーションを深めるべきだったと反省した。
- ◎ 設問7の特色ある教育の右脳発達プログラムについて
  - ・ 新入生にとっては、椅子に座り机に向かって「学ぶ」というスタイルが未完成な子どもが多い中で、講師も子どもたちが意欲を持って取り掛かれるような声掛けをしたり、励ましたりしながら集中力が高められるようなカリキュラムを立案してくれていて、大変助かった。
  - ・ 進級園児は集中して楽しく取り組んでいる姿が多く見受けられて安心していられた。
  - ・ 講師の声掛けは、見習う点が多々あった
  - ・ 今年度は、ペーパーの取り組みがほとんどなかったため、次年度は、講師にリクエストをする必要があると思った。

自己評価をもとに、外部の方(3名)と幼稚園保護者の方(2名)に代表として評議委員になっていただき、幼稚園外部評価を実施しました(外部評価委員の皆様には、事前に来園していただき特色ある教育を参観していただきました)。

◎ 特色ある教育活動について

- ・ 担任以外の専門講師が教えることはとても良いと思う。専門の先生なので声掛けが上手で、子どもたちは集中して取り組んでいるように見えた。さらに、見ていて思ったことは子どもが楽しんでいるなら良い、と感じた。
- ・ 特色ある教育のレッスン時間が30～45分間なので、小学校の授業時間が45分と考えると、園児にとって適切な時間配分だと思う。
- ・ 特色ある教育活動で学んだことを生かせる場があると良い。例えば、英語なら給食に出たおかずを英語で言ってみるとか、その日に学んだことがその場で終わるのではなく、繋がっていくことが大事だと思う。

☆ →次年度は、毎朝の挨拶や天気(雨の日の傘などの持ち物)などから英語で始めようと思います。給食は果物の名称から始めて、おかず(魚・豚肉・鶏肉・野菜)の名称を少しずつ園児との会話の中で楽しみたいと思います。

- ・ 体育指導と違い、英語や右脳の発達プログラムは内容が保護者に伝わりにくいので、保護者も一緒に楽しめるように「お便り」に曲名などを載せたり、モノクロでもよいので写真を載せるのも効果があると思う。

☆ →写真のアップは、次年度に検討中です。

- ・ コロナ禍の時に実施していた参観に来られない保護者向けに動画で配信すると、何を学んでいるかが分かり易く、保護者も子どもの学ぶ姿が見られて嬉しい。

☆ →まずは写真のアップから始めていきます。

◎ 地域や小学校、他施設との交流や連携について

- ・ 他施設にみんなで行く面白いと思う。例えば、図書館に行って、好きな本を一冊借りるとか、図書館に相談してみるのも良いと考える。
- ・ 園だよりを町会に渡す(園児の個人情報を消して)のも案だと思う。
- ・ 小学校と手紙の交換(園児が小学生に手紙を書いてお返事をもらう)も交流になると思う。

◎ その他

- ・ 評価でほとんどの保護者の方がAやBをつけているので、CとDがあってもあまり気にしなくても良いのではないかな。

園より…

令和4年度に引き続き、令和5年度も保護者の皆様や園児に豊多摩幼稚園の教育へのご理解・ご協力を頂きまして、感謝しております。ありがとうございました。

また、様々な行事にお手伝いをして下さった役員のお母様方にもお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

令和6年度も保護者の皆様のご期待に応えられるように今回頂いたご意見を参考にしながら、職員一同、子どもたちのために取り組んでいきます。

幼稚園評価へのご協力ありがとうございました。